

STEP 1 (授業前)
教師が「何を教えるか」、子どもが「なぜ学ぶのか」自分の言葉で表現できる

流れ	形態	学習内容・生徒の活動	教師のはたらきかけ	評価方法	
復習	ペア	・前時までの学習をペアで確認する ア：上皿天秤、メスシリンダーの使い方 イ：金属の特徴	・廊下側と窓側の生徒が交互に発言するよう指示する。		
導入	個人		・金の価格が上昇している現状を伝え折れ線グラフで示す。 ・将来、金を購入した時にだまされない(区別できる)知識の必要性を伝える。	STEP 2 教師の「教えたい」を子どもの「学びたい」に変える	
課題設定	個人	・本時の課題を知る			
		全体課題：物質特有の性質をもとに、3つの金属を見分けることができる			
		・密度及びその求め方を知る	・物質によって、密度が決まっていることを伝え、公式を教える。 ・課題解決及びその後の流れを伝える。	STEP 3 身に付けるべき資質・能力を明確にする	
・個人の目標をたてる	・学び方や課題解決後の取組の選択肢を伝える。	STEP 4 自分に合った課題や学び方を決める			
		個別目標 (想定)			
		<ul style="list-style-type: none"> ・(個、グ、先生と)、密度を求めて3つの金属を見分ける ・(個、グ、先生と)、密度を求めて3つの金属を見分け、その後、発展問題にも挑戦する ・(個、グ、先生と)、密度を求めて3つの金属を見分け、その後、密度の計算練習を繰り返し行う ・(個、グ、先生と)、密度を求めて3つの金属を見分け、その後、見分け方を図や文章を1枚のスライドにまとめる ・(個、グ、先生と)、密度を求めて3つの金属を見分け、その後、自分で密度に関する問題を作成し仲間と解き合う 			
課題解決	選択	・実験を通じて、3つの金属を見分ける ・個人目標達成に向けて取り組む(途中変更可)	・机間巡視及び個別指導を行う。	【知・技】 密度が物質に固有な数値であることを理解し、計算から密度をも求めることができる。 【使いたい用語】 密度、g/cm ³ 、質量、体積	
まとめ	全体	・キーワードをつなぎあわせて、まとめを作成する	・実験結果をロイロノートで集約し、生徒との対話からキーワードを板書する。		
		まとめ：上皿天秤で質量を、メスシリンダーで体積を求め、その値から密度を求めることで金属を見分けることができる			
振り返り	個人	・学びを振り返る	・振り返りの視点を示す。 ア：本時で何を学んだか イ：わかったことやわからなかったこと ウ：自分の学び方の良さや改善点 エ：モヤモヤしていることや新たな気づき	STEP 5 自身の学び方をメタ認知・可視化できる	

※ 上記の本時案は岩見沢型授業のモデルであり、体裁等を統一するものではありません。
 ※ また、お示しした5つのSTEPについて、一単位時間ですべて網羅する必要はありません。